

シリーズ～神の国～

2013/6/30

**幸せを運ぶ**

---

## マタイ福音書10章5～15節

イエスはこの十二人を派遣するにあたり、次のように命じられた。「異邦人の道に行ってはならない。また、サマリア人の町に入ってはならない。むしろ、イスラエルの家の失われた羊のところへ行きなさい。行って、『天の国は近づいた』と宣べ伝えなさい。病人をいやし、死者を生き返らせ、重い皮膚病を患っている人を清くし、悪霊を追い払いなさい。ただで受けたのだから、ただで与えなさい。帯の中に金貨も銀貨も銅貨も入れて行ってはならない。旅には袋も二枚の下着も、履物も杖も持って行ってはならない。働く者が食べ物を受けるのは当然である。



## マタイ福音書10章5～15節

町や村に入ったら、そこで、ふさわしい人はだれかをよく調べ、旅立つときまで、その人のもとにとどまりなさい。その家に入ったら、『平和があるように』と挨拶しなさい。家の人々がそれを受けるとにふさわしければ、あなたがたの願う平和は彼らに与えられる。もし、ふさわしくなければ、その平和はあなたがたに返ってくる。あなたがたを迎え入れもせず、あなたがたの言葉に耳を傾けようとしなない者がいたら、その家や町を出て行くとき、足の埃を払い落とすなさい。はっきり言うておく。裁きの日には、この町よりもソドムやゴモラの地の方が軽い罰で済む。」



# 12弟子の实地訓練

- × イエス様の公生涯は弟子の育成に費やされた
  - + 座学が十分でないうちに行われた实地訓練
- × イスラエルの家の失われた羊の所へ行きなさい
  - + 異邦人やサマリア人を差別しているのではない
  - + 助けを必要としている人のところへ行く
- × 「天の国(神の国)は近づいた」と宣べ伝えなさい
  - + 余計なことは言わなくて良い
- × 病人を癒し,死者を生き返らせ,皮膚病を清め…
  - + 困っている人を助けなさい。しかも「ただ」で



# 12弟子の実地訓練

- × お金も着替えも持って行くな
  - + 元祖「無銭旅行」
  - + 弟子たちにとっては最大のチャレンジ!
- × 町や村には行ったら、あちらこちら泊まり歩くな
  - + ちやほやされて高ぶらないため
- × 受け入れなければ、町を出て行くときに足の埃を払い落とささい
  - + 受け入れるかどうかは弟子たちではなく町の人々の責任である



# 実地訓練の目的は？

- × イエス様が去った後、本当の神の国を築くため
  - + 「永遠の命」の福音を携えて
- × 出て行くことの大切さを教えるため
  - + 待っていては神の国は拡大しない
- × 自分たちに与えられている力を知るため
  - + イエス様のそばにいたら出る幕はない
- × 天の父が養って下さることを体験するため
  - + 「何よりもまず、神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはみな加えて与えられる」

# 変なセールスマン

- × 売り物を持って行かない
- × 旅支度をしない
- × お客様さんの所に宿泊する
- × 売れなくても責任はない





# 私たちも神の国セールスマンになる!

## × 出て行く

+ 待っていても誰も来ない

## × 助けを必要としている人がいる

+ 自分ではなく神様の力を分けてあげよう

## × 自分の心配は後回し

+ これが私たちの「**売り**」です

## × 結果に責任はない

+ 伝えなければ私たちの責任



# 私たちも神の国セールスマンになる!

## × 出て行く

+ 待っていても誰も来ない

## × 助けを必要としている人がいる

+ 自分ではなく神様の力を分けてあげよう

## × 自分の心配は後回し

+ これが私たちの「**売り**」です

## × 結果に責任はない

+ 伝えなければ私たちの責任

伝えて始めて分かる本当の神の国